

本来は悪性腫瘍(がん)で死ぬことは滅多に無い

最新がん統計

最新がん統計のまとめ

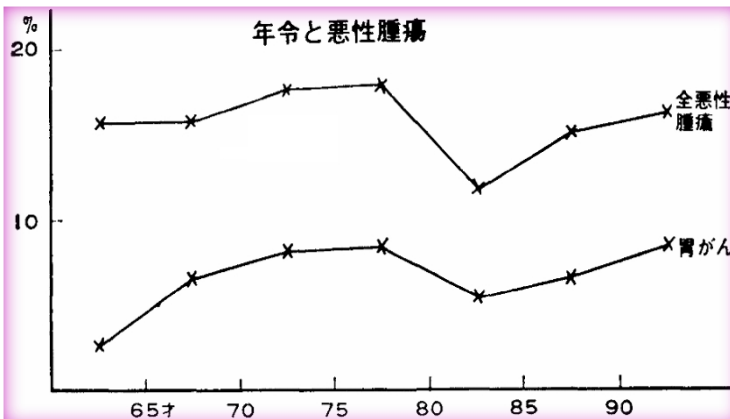
- 2021年に新たに診断されたがんは988,900例
(男性555,918例、女性432,982例) *性別不詳があるため男女の合計が
総数と一致しない場合があります。
- 2023年にがんで死亡した人は382,504人 (男性221,360人、女性161,144人)
- 2009～2011年にがんと診断された人の5年相対生存率は男女計で64.1 %
(男性62.0 %、女性66.9 %)
- 日本人が一生のうちにがんと診断される確率は (2021年データに基づく)
男性63.3% (2人に1人) 女性50.8% (2人に1人)
- 日本人ががんで死亡する確率は (2023年のデータに基づく) ←「がん医療」の結果
男性24.7% (4人に1人) 女性17.2% (6人に1人)

◆1950～1960年代に亡くなった人のうち、「老衰」と診断された427人の解剖所見(表2)を見ると、19%の人に悪性腫瘍(がん)を確認できるが、他の疾患に比べると少なく、それが死因になったわけでもない。

◆高齢者医療を行う病院(浴風会病院)において、1950～1960年代に亡くなった全員の解剖所見(表4)を見ると、16%の人に悪性腫瘍を確認できるが、他の疾患に比べると少なく、それが死因になったわけでもない。

◆浴風会病院における当時の解剖所を見ると、年齢が高まっても、がんが見られた人の割合は増えていない。

◆昔は、がんで死ぬことは滅多に無かった。そして、死のリスクを高めたのは現代の「がん医療」であり、現代文明である。



<作成: stnv基礎医学研究室>

浴風会病院の剖検所見による結果

国立研究開発法人
国立がん研究センター
法人番号: 6010005015219

表1 剖検輯報 1958→1970より、「老衰」の臨床診断例

年 齢	男	女	計
60～64	1	3	4
65～69	9	8	17
70～74	24	26	50
75～79	42	51	93
80～84	41	67	108
85～89	39	50	89
90～94	20	33	53
95～	2	11	13
計	178	249	427

表4 剖検輯報「老衰」例と浴風会病院一般剖検例の比較

	剖 検 輯 報 老 衰 427 例	浴 風 会 一 般 1469 例
動 脈 硬 化	56%	61%
気 管 支 炎	6	・
肺 結 核	9	10
肺 炎	44	28(廿)
肺 気 腫	13	29
肺 硬 塞	4	6
心 筋 硬 塞	5	15
心 筋 胼 胝	2	・
心 肥 大	22	・
胃十二指腸潰瘍	6	18
胆石・胆のう炎	7	18
尿 路 感 染	13	47
悪性腫瘍	9	11
消化器	少	少
以 外	10	5
老 衰	5	3
脳 出 血	3	6(大)
脳 硬 塞	23	30(中)

表2 剖検輯報「老衰」例の剖検所見

	男 (178)	女 (249)	計 (427例)
動 脈 硬 化	94	146	240(56)
気 管 支 炎	12	15	27 (6)
肺 結 核	22	18	40 (9)
肺 炎	82	107	189(44)
肺 気 腫	22	35	57(13)
肺 硬 塞	5	11	16 (4)
脳 出 血	4	8	12 (3)
脳 硬 塞	43	56	99(23)
心 筋 硬 塞	11	11	22 (5)
心 筋 胼 胝	5	5	10 (2)
心 肥 大	39	57	96(22)
胃十二指腸潰瘍	8	18	26 (6)
胆石・胆のう炎	11	20	31 (7)
尿 路 感 染	23	32	55(13)
腎 硬 化・萎 縮	71	99	170(40)
悪性腫瘍	22	15	37 (9)
消化器	少	少	少
以 外	22	22	44(10)
老衰, 臓器萎縮	4	17	21 (5)

表3 浴風会一般剖検例の性別年齢別頻度

年 齢	男	女	計
～64歳	21	17	38
65～69	57	62	119
70～74	117	165	282
75～79	143	240	383
80～84	118	254	372
85～89	44	149	193
90～	12	70	82
計	512	957	1,469